留学報告書

氏 名 平野秀和

令和 7 年 8 月 10 日

学 部 総合理工学部 学科・課程 地球科学

1.	留学先大学・学	部 <u>国名</u>	1	フラン	/ス							
		大学	:名	オルし	アン大学	:						
	現地到着日(2024	年	9	月	4	日)
2.	現地出発日(日本を出発する)					授業終了日(2025	年	5	月	8	日)
		3	0, 1, 1, 1, 2		VIII							
パフ	ペポート、学生ビ	ザの申請	取得、	旅券の	購入、留	学に必要な用具の購入	、、フラン	ス、オ	ルレ	ノアン	/大	<u>学に</u>
関す	つる情報収集、お	金の工面	、卒業を	までの単	位計画、	為替レートの確認、日	本円から	ユーロ	に同	可替_	(日)	<u>本円</u>
で1	0万円)、参考書	の購入、	学生寮々	大学へ	の申請、	学生寮の保険会社との	契約					
3.	自宅から留学先	大学まで	の交通	手段(乗	物の種類	,乗り換え地,所要時	間)					
学生	E寮からの場合	徒歩10分										
<u>ホ</u> フ	ストファミリーの	場合ト	ラム (2	各面電車	1)数駅	家によっては一時間近	くかかる					
4.	留学先大学での	各種手続	きの仕た	方								
<u>学</u> 生	<u>E寮は案内のメー</u>	ルが来る	ので受	寸で書類	質の確認を	して鍵をもらう。						
<u>授</u> 筹	美開始前か後に学	生証の取	(得をし)	ないとい	いけない。							
5.	留学生へのオリ	エンテー	ション(の内容が	なびプレー	スメントテストについ	って					

ウェルカムウィークが二週間あるので自分が参加したい日に行く。内容はオルレアン周辺の観光や大学周辺

でパーティー、ボウリング大会など多岐にわたる。そこでは毎年日本人が多くいるみたいなので友達になる

テストは二回あります。留学に来る前にネットで受けるテストと現地で受けるテスト。ネットで受けるテストは三択問題などが行われます。現地でのテストは4技能全て行われる総合テストになります。この二つの 結果からクラス分けが行われます。

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

授業は島根大学のフランス語の授業とほとんど同じです。しかし、先生からの質問があった際は海外の方がほとんど回答してしまうのでそれに負けず自分で回答することが重要だと考えます。試験の傾向は特にありません。DELFA2~B1レベルの問題がでます。たまにすごく難しい時もあるのですがその時はみんな成績が悪いので気にしなくて大丈夫です。

- 7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの フランス語の授業しかなかったのですが話す授業は自分から積極手に会話するチャンスなので間違いなど を気にせずどんどん話せるのでよかったと思います。先生は頑張って理解しようとしてくれるので間違って いてもそこまで指摘はされません。
- 8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

学生寮は二つあります。一つ目は大学の隣にあるのですが家賃は400ユーロ程度になります。部屋の構成は 1LDKでキッチンが部屋の中にあることが二つ目との大きな違いです。私の友達は四階に住んでいたのですが エレベーターが無いので苦労していました。もう一つ目は私が住んでいたシャテニエと呼ばれる学生寮です。 1Kですごく狭いですが生活するのには困りません。キッチンは共用です。12階建てでエレベーターが二つ付いています。部屋の中には机と椅子、冷蔵庫、ベッド、クローゼットがあります。洗濯機は地下にあります 一回3ユーロかかります。乾燥は一回1ユーロです。シャテニエの方がキッチンなどで日本人を含め他の留学 生と関わることができるのでお勧めです。

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子(行事など)、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、
(いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等)
注意点などは特にないです。私の部屋ではシャワーのホースと電球が壊れたことがあるのですが、一階の受
付の人に状況を説明すると後日無料で修理してくれます。ルームメイトはいないのですがキッチンを共にす
る人たちはいるのでがんばって話しかけてみることが大事です。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

(どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等) <u>基本クレジットカードを二枚持っていて一枚だけを財布に入れて日々の生活の支払いで使います。現金は友</u> <u>達と遊んだ後などにお金を返金する際に使います。旅行をたくさんする予定ならカードの上限を上げておく</u> ことも大切だと思います。

- 11. キャンパス案内(どんなとき,どこへ行けばよいか等) 私たち留学生が使うのは語学棟と食堂です。横並びになっているので行き来しやすいです。食堂は一回3.3 ユーロです。上の項目にも書いたのですが保健室も使うことがあると思います。
- 12. 現地案内(買物,銀行,レストラン,理髪店,美容院等の様子)

ルクエアは学生が一番使うスーパーになると思います。オルレアン周辺で一番広くて商品も豊富にあり、学生寮から徒歩10分ほどの距離にあります。パリの店以外は基本日曜日は休みなので注意が必要です。銀行は使っていないのでわからないのですがネット銀行を友達は使っていたと思います。レストランなども駅前にいくつかあるのでぜひ行ってみると良いと思います。私のおすすめはタコス屋さんです。いろいろなタコス屋に挑戦してみると良いと思います。本当においしいです。

13. 失敗談 (どんな小さなことでも)

DELFの参考書はパリの書店には売っているので留学に来てすぐ買いに行かなかったことです。あと、パリにはたくさんの観光地が存在するので毎週土日のどちらかはしんどくても行っとくべきだったなと後悔しています。

14. 病気になった場合の対応について (医療費はどのようになっていたか, 保険等はどのようにしたか) 基本は日本から持ってきた薬で治す。ですが大学の近くに大学の保健室があってそこでは無料で薬などをく
れたりもする。保険は入っていてもすごく高いので病院には行かないことを勧めます。
15. お世話になった方々
国際課の人達、マズドブリュー先生、現地の先生、友達、現地の日本語学科の子達
16. 留学先国内旅行について(場所,手段,費用,旅行社等) 私が旅行したのはスペイン、ドイツ、イタリア、バチカン、イギリス、ベルギー、ノルウェー、モナコです。
移動手段はバスか飛行機です。費用はベルギーなどは日帰りで行けたりできるので賢く旅行したらすごく安
くたくさん旅行できます。土日はオルレアン・パリ間は早く電車を取れば無料で行けるのでパリ旅行は移動
費無料です。
17. 気候と服装について
日本よりも冬が少し寒くないくらいでそれ以外はほとんど似ています。ダウンも必要ですしパーカーも必要
です。夏も暑いです。また洗濯機を回すのにお金が800円ほどかかるので服を多めに持っていくべきだと思
います。雨はたまにしか降らないので折り畳みがあれば十分です。
18. 日本からぜひ持っていきたいもの(学用品、衣服、食品、薬、運転免許証等)
薬などはもちろんなのですが、シャー芯やノートなどはフランスでは日本より高いので必ず多めに準備しと
<u>くべきです。参考書も日本語で勉強したいなら必ず日本から持っていきましょう。また英語がペラペラじゃ</u>
ないのであれば英語も勉強する必要が出てくるので英語の参考書もあれば便利だと思います。

特にないのですがオルレアン大学に関する留学レポートはたくさんの人が書いているのでそれを参考にす
ると良いと思います。
20. ホームステイの依頼方法
国際課の人からどちらを選ぶか聞かれるはずです。
21. 留学費用について
1) 旅費 (往) 15万 円, (復) 15万 円
2) 準備費用
3) 大学へ納入する費用0円
授業料(年間合計) <u>53万</u> 円
保険等その他の費用 <u>8万</u> 円
4)住居費(光熱費等含む) <u>35万</u> 円
5)衣服代,その他雑費 7万 円 6)帰国時の土産代,郵送料等 1万 円
7) 留学先国内旅行費用 100万 円
7) 留子元回内が打貨用 100万 □ 8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額 160万 円
o, zheno e she y e e e e e e e e e e e e e e e e e e
現地通貨 <u>ユーロ</u> 日本円換算(レート) <u>160 円</u>
22. 帰国時の荷物の作り方,送り方等
郵便で送る人もいたのですがすごく高いです。私はスーツケースにすべて入れて持って帰りました。スーツ
ケースを買い足している人もいました。
_
23. 留学して得たこと(全般についての感想文) 私が留学して得たことは自信と友達と経験です。私は今まで海外旅行をしたことが無かったのですがこの一
年で10か国の国に訪れ様々な場面に遭遇し、乗り越えたことで自分の自信を持つことができました。友達も
たくさんでき日本以外の国にも興味を持つようになりました。友達を通して日本と異なる文化、宗教、考え
方に触れることができたので自分の将来にとって良い経験になったと思います。「経験」についての話は「自
信」についての話と被ってしまうのですが、関西国際空港から行って帰ってくるまでに本当に多くの貴重で

新鮮な経験を積むことができました。留学で培った経験は今現在の生活にも非常に生きていると感じます。 最後に、言語についてですが留学に行く前にDELFA2に合格した状態で行きDELFB1を帰国後にすぐ取得しました。これからも英語も含めて言語学習を継続して続けていきたいと思います。